

## 北東北の中標高以上で利用できる牧草新品種「イカロス」

### 研究のねらい

高品質多収・耐湿性牧草として2009年品種登録申請したフェストロリウム「東北1号」は、東北地方の転作田や飼料畑などでの栽培に向いている。しかしながら、耐雪性・越冬性が既存品種よりやや劣るので、北東北の中標高以上の草地での栽培は推奨していない。そのため、この地域の中標高上の草地に適応する越冬性に優れた品種が求められている。

### 成果の内容

- ①岩手県盛岡市における「イカロス」の収量は、採草を想定した少回刈りの4カ年平均値で「パーフェスト」より9%多収、放牧を想定した多回刈りで4%多収で、「東北1号」と同等である(表1)。
- ②「イカロス」は北海道長沼町(連続積雪日数約120日)においても越冬に支障がない。寒冷地で「東北1号」よりも雪腐病罹病程度が低く(写真2)、北東北での適応性は高い。
- ③出穂始日は「パーフェスト」と同時期で、「東北1号」より若干早い。「東北1号」よりも稈長・穂長が短く、葉幅が小さく、茎数が多い(写真1)。草型はややほふく型で、葉色は「パーフェスト」より淡く、「東北1号」より濃い。冠さび病抵抗性及び乾物分解率は「パーフェスト」よりも優れるが、「東北1号」よりも若干劣る。



写真1 イカロスの出穂期の草姿

表1 イカロスの年間乾物収量比<sup>1</sup>

品 種	岩手県盛岡市 <sup>2</sup>		北海道長沼町 <sup>3</sup>
	少回刈	多回刈	
イカロス	109	104	96
東北1号	110	104	—
パーフェスト	162.3	116.3	175.8
フレンド	—	—	88

- 1) パーフェストの値を100としたときの値。パーフェストは実数値(kg/a)。
- 2) 少回刈りは年間4回、多回刈りは年間7,8回刈り取る。4カ年平均値。
- 3) 年間3-6回刈り、4カ年平均値。

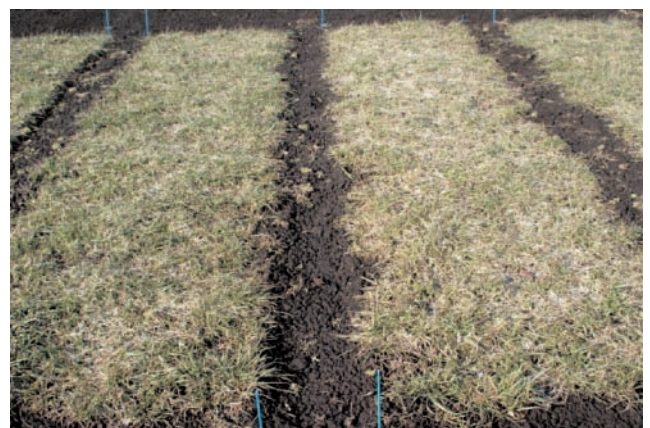


写真2 イカロス(左)と東北1号(右)の越冬後の葉枯れ程度(盛岡市、2010年03月18日)

### 成果の利活用

- ①冬季の連続積雪日数120日までの草地で、採草及び放牧利用に適する。北東北、南東北の太平洋側及び中高標高地域などの畑、草地に向く。

